

2026年度 大学院(修士課程) A日程 入学者選抜 目次

【問題】

基礎科目:西洋音楽史 [専攻問題]〈有鍵楽器(ピアノ)〉	2
基礎科目:西洋音楽史 [専攻問題]〈有鍵楽器(オルガン)〉	4
基礎科目:西洋音楽史 [専攻問題]〈管楽器・打楽器・弦楽器〉	6
基礎科目:西洋音楽史 [専攻問題]〈声楽〉	8
基礎科目:西洋音楽史 [専攻問題]〈作曲〉	10
基礎科目:西洋音楽史 [共通問題]	12
基礎科目:音楽理論 [和声]〈有鍵楽器・音楽教育〉	14
基礎科目:音楽理論 [和声]〈管楽器・打楽器・弦楽器・声楽〉	15
基礎科目:音楽理論 [対位法]〈器楽・声楽・音楽教育〉	16
専攻科目:作曲〈作曲専攻〉	17

【解答例】

基礎科目:音楽理論 [和声]〈有鍵楽器・音楽教育〉	19
基礎科目:音楽理論 [和声]〈管楽器・打楽器・弦楽器・声楽〉	20
著作権に関して	21

* 受験者のいなかった科目、選択されなかった問題は掲載をしていません。

* 外国語、楽書解読の問題は著作権法の関係で掲載をしていません。(P. 21参照)

2026年度 大学院(修士課程) A日程 基礎科目 西洋音楽史

1. [専攻問題]

<有鍵盤器(ピアノ)> ※音楽教育専攻を含む

下記のA～D群の楽曲の中からそれぞれ指定された数の楽曲を選択し、それらの楽曲の音楽的特徴と音楽史上の位置付けを説明しなさい。なお、解答欄の【 】に選択した群と番号を示すこと。例：【 B ⑤ 】

A群（この中から1つ選択すること）

- ① D. スカルラッチェ：ピアノ・ソナタから任意の1曲（ロンゴ番号、またはカークパトリック番号を付すこと）
- ② F. クープラン：クラヴサン組曲から任意の1曲（組曲全体または組曲中の特定の1曲を選んでも良い）
- ③ ヨハン・クーナウ：《聖書ソナタ》
- ④ J. S. バッハ：《アンナ・マグダレーナの音楽帳》

B群（この中から1つ選択すること）

- ⑤ J. ハイドン：ピアノ・ソナタから1曲またはピアノ・ソナタ全体について
- ⑥ M. クレメンティ：《グラドゥス・アド・パルナッスム》Op. 44
- ⑦ W. A. モーツァルト：ピアノ協奏曲から1曲（KV番号または協奏曲の番号を付すこと）

C群（この中から2つ選択すること）

- ⑧ L. v. ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第12番 変イ長調 Op. 26
- ⑨ L. v. ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第23番 へ短調 Op. 57 《熱情》
- ⑩ F. シューベルト：《さすらい人幻想曲》D 760 Op. 15
- ⑪ F. ショパン：24のプレリュード（前奏曲集）Op. 28
- ⑫ F. リスト：ピアノ・ソナタ ロ短調 S. 178/R. 21 A179
- ⑬ J. ブラームス：《ヘンデルの主題による変奏曲とフーガ》Op. 24

D群（この中から1つ選択すること）

- ⑭ C. ドビュッシー：《版画》
- ⑮ S. ラフマニノフ：エチュード《音の絵》Op. 33, Op. 39
- ⑯ O. メシアン：《4つのリズム・エチュード》

1. 【 】

（これ以上書かないこと）

2. 【 】

(これ以上書かないこと)

3. 【 】

(これ以上書かないこと)

4. 【 】

(これ以上書かないこと)

5. 【 】

(これ以上書かないこと)

3. 【 】

(これ以上書かないこと)

4. 【 】

(これ以上書かないこと)

5. 【 】

(これ以上書かないこと)

〈管楽器・打楽器・弦楽器〉 ※音楽教育専攻を含む

下記のA～C群の楽曲の中からそれぞれ指定された数の楽曲を選択し、それらの楽曲の音楽的特徴と音楽史上の位置付けを説明しなさい。なお、解答欄の【 】に選択した群と番号を示すこと。例：【 B ⑤ 】

A群（この中から2つ選択すること）

- ① ルネサンス期以前の管弦打楽器を用いた楽曲に関して
- ② J. S. バッハ：管弦楽組曲第1番～第4番 BWV 1066-1069（この中から1曲）
- ③ A. コレリ：合奏協奏曲 作品6（作品全体か1曲を選択）
- ④ G. F. ヘンデル：《水上の音楽》HWV 348-350、《王宮の花火の音楽》HWV 351（いずれか1曲）

B群（この中から1つ選択すること）

- ⑤ G. B. サンマルティーニ：交響曲の中から1曲
- ⑥ J. ハイドン：交響曲第104番 ニ長調《ロンドン》 Hob. I:104
- ⑦ L. v. ベートーヴェン：《エグモント》序曲 Op. 84
- ⑧ L. v. ベートーヴェン：交響曲第6番 ヘ長調 Op. 68《田園》

C群（この中から2つ選択すること）

- ⑨ H. ベルリオーズ：《幻想交響曲》Op. 14
- ⑩ F. リスト：交響詩《前奏曲》S. 97
- ⑪ G. マーラー：声楽を含む交響曲の中から1曲
- ⑫ I. ストラヴィンスキー：《春の祭典》

1. 【 】

(これ以上書かないこと)

2. 【 】

(これ以上書かないこと)

3. 【 】

(これ以上書かないこと)

4. 【 】

(これ以上書かないこと)

5. 【 】

(これ以上書かないこと)

3. 【 】

(これ以上書かないこと)

4. 【 】

(これ以上書かないこと)

5. 【 】

(これ以上書かないこと)

<作曲>

下記のA～B群の楽曲の中からそれぞれ指定された数の楽曲を選択し、それらの楽曲の音楽的特徴と音楽史上の位置付けを説明しなさい。なお、解答欄の【 】に選択した群と番号を示すこと。例：【 B ⑤ 】

A群（この中から1つ選択すること）

- ① J. S. バッハ：《フーガの技法》BWV 1080
- ② W. A. モーツァルト：交響曲第41番 ハ長調 KV 551《ジュピター》
- ③ L. v. ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第17番 ニ短調《テンペスト》Op. 31-2 または第23番 ヘ短調《熱情》Op. 57
(いずれか1曲)
- ④ R. ワグナー（ヴァーグナー）：楽劇《トリスタンとイゾルデ》

B群（この中から4つ選択すること）

- ⑤ A. ウェーベルン：交響曲 Op. 21、または、ピアノのための変奏曲 Op. 27 (いずれか1曲)
- ⑥ J. ケージ：《プリペアド・ピアノのためのソナタとインターリュード》
- ⑦ A. シューンベルク：《月に憑かれたピエロ》
- ⑧ I. ストラヴィンスキー：《春の祭典》
- ⑨ P. ブレーズ：ピアノ・ソナタ第2番、または《ル・マルトール・サン・メートル》(いずれか1曲)
- ⑩ A. ベルク：ピアノ・ソナタ、または《ヴォツェック》
- ⑪ 黛敏郎：《涅槃交響曲》
- ⑫ O. メシアン：《トゥランガリラ交響曲》または《アッシジの聖フランチェスコ》(いずれか1曲)

1. 【 】

(これ以上書かないこと)

2. 【 】

(これ以上書かないこと)

3. 【 】

(これ以上書かないこと)

4. 【 】

(これ以上書かないこと)

5. 【 】

(これ以上書かないこと)

2. [共通問題]
 <器楽・声楽・作曲・音楽教育>

下記のA～C群の楽曲の中からそれぞれ指定された数の楽曲を選択し、それらの楽曲の音楽的特徴と音楽史上の位置付けを説明しなさい。なお、解答欄の【 】に選択した群と番号を示すこと。例：【 B ⑤ 】

- A群（この中から2つ選択すること）
- ① G. デュファイ：ミサ曲《わたしの顔が青ざめているのは》、ミサ曲《ロム・アルメ》（いずれか1曲）
 - ② G. ド・マシヨー：《ノートル・ダム・ミサ》
 - ③ G. カッチーニ：《麗しのアマリッリ》
 - ④ J. S. バッハ：《ブランデンブルク協奏曲》BWV 1046-1051（任意の1曲を選択）

- B群（この中から1つ選択すること）
- ⑤ J. ハイドン：《天地創造》Hob. XXI:2
 - ⑥ W. A. モーツァルト：交響曲第41番 ハ長調 KV 551 《ジュピター》
 - ⑦ L. v. ベートーヴェン：交響曲第3番 変ホ長調 Op. 55 《英雄》
 - ⑧ L. v. ベートーヴェン：歌劇《フィデリオ》Op. 72

- C群（この中から2つ選択すること）
- ⑨ F. メンデルスゾーン：演奏会用序曲《フィンガルの洞窟》Op. 26
 - ⑩ F. ショパン：《夜想曲》・《ポロネーズ》・《マズルカ》（任意の1曲を選択）
 - ⑪ J. ブラームス：《ドイツ・レクイエム》Op. 45
 - ⑫ C. フランク：交響曲 ニ短調

1. 【 】

（これ以上書かないこと）

2. 【 】

（これ以上書かないこと）

3. 【 】

(これ以上書かないこと)

4. 【 】

(これ以上書かないこと)

5. 【 】

(これ以上書かないこと)

2026年度 大学院(修士課程) A日程 基礎科目 音楽理論

1. [和声]
〈有鍵楽器・音楽教育〉

次のバス課題、およびソプラノ課題を四声体で実施下さい。

バス課題

The bass line is written in G major (one sharp) and 3/4 time. It consists of two staves. The first staff contains four measures: G4 quarter, A4 quarter, B4 quarter, and a half note G4. The second staff contains five measures: G4 quarter, A4 quarter, B4 quarter, C5 quarter, and a half note G4. The piece ends with a double bar line.

ソプラノ課題

The soprano line is written in G major (one sharp) and 4/4 time. It consists of two staves. The first staff contains four measures: G4 quarter, A4 quarter, B4 quarter, and C5 quarter; G4 quarter, A4 quarter, B4 quarter, and C5 quarter; G4 quarter, A4 quarter, B4 quarter, and C5 quarter; G4 quarter, A4 quarter, B4 quarter, and C5 quarter. The second staff contains four measures: G4 quarter, A4 quarter, B4 quarter, and C5 quarter; G4 quarter, A4 quarter, B4 quarter, and C5 quarter; G4 quarter, A4 quarter, B4 quarter, and C5 quarter; G4 quarter, A4 quarter, B4 quarter, and C5 quarter. The piece ends with a double bar line.

<管楽器・打楽器・弦楽器・声楽>

次のバス課題、およびソプラノ課題を四声体で実施下さい。

バス課題

The bass clef musical notation consists of two staves. The first staff has four measures: G2, A2, B2, C3; D2, E2, F2, G2; A2, B2, C3, D3; E2, D2. The second staff has four measures: C3, B2, A2, G2; F2, E2, D2, C3; B2, A2, G2, F2; E2, D2, C3.

ソプラノ課題

The soprano clef musical notation consists of two staves. The first staff has four measures: G4, A4, B4, C5; D5, C5, B4, A4; G4, F4, E4, D4; C4. The second staff has four measures: B4, A4, G4, F4; E4, D4, C4, B3; A3, G3, F3, E3; D3.

2. [対位法]
〈器楽・声楽・音楽教育〉

対位法を選択した受験者がいなかったため、問題の掲載はしていません。

Allegro moderato

(7)



※ 楽器、音部記号などの設定は任意。楽器名を明記し、移調楽器を使用する場合は移調表記を用いること。

b) ※歌詞の課題は本学図書館で閲覧してください。

2026年度 大学院(修士課程) A日程 基礎科目 音楽理論 解答例

1. [和声]

〈有鍵楽器・音楽教育〉

バス課題

<管楽器・打楽器・弦楽器・声楽>

バス課題

First system of the Bass exercise. It consists of two staves: a treble clef staff and a bass clef staff. The key signature has one flat (B-flat) and the time signature is common time (C). The music features a series of chords and intervals, primarily focusing on the lower register of the bass clef.

Second system of the Bass exercise. It continues with two staves (treble and bass clef) in the same key signature and time signature. The piece concludes with a final chord in the bass clef.

ソプラノ課題

First system of the Soprano exercise. It consists of two staves: a treble clef staff and a bass clef staff. The key signature has one sharp (F-sharp) and the time signature is 3/4. The music features a series of chords and intervals, primarily focusing on the upper register of the treble clef.

Second system of the Soprano exercise. It continues with two staves (treble and bass clef) in the same key signature and time signature. The piece concludes with a final chord in the treble clef.

著作権に関して

大学院(修士課程)A日程の入学者選抜で実施される「外国語科目」、作曲専攻の作曲実技における「歌詞」ならびに音楽学専攻の「楽書解説」については、著作権法の関係でこの問題集には掲載していません。過去3年間(2024年度～2026年度)に出題された問題は、本学図書館にて閲覧することができます。希望者は図書館にて所定の手続きを行ったうえで閲覧をしてください。